

理数科・英語科2年生 の科学英語合同授業



図1 英語科(左)・理数科(右)で論文を読解

理数科と英語科の2年生が英語論文“Frictional Coefficient under Banana Skin”(バナナの皮の摩擦係数)を合同で読み、要約作成をしました。生徒2名ずつでグループを作り、英文の内容については英語科の生徒がリードし、科学的な内容の理解については理数科の生徒がリードしました。

【感想】

- ・論文を読む際に英語科の生徒と助け合うことで読み進められました。
- ・来年の海外向けの研究発表に生かしたいです。
- ・理数科との意見共有で、実験の内容や理系用語を補うことができました。

Co-creation

理数科×英語科 普通科理系×文系×大学

普通科2年生による課題研究中間ポスター発表会を体育館で実施しました。最初に38期生で米Apple社主催のSwift Student challengeで世界上位11人に入賞された熊本県立大学3年生の秋岡菜々子さんによる講演会を実施しました。

発表会では、秋岡さんや熊本県立大学職員2名に加えて、SSHコーディネーターの本山先生が参加されました。

【感想】

- ・高校生が自身の言葉で研究内容を話しており素晴らしかった。
- ・大学生の研究活動に直結する内容も多く、継続的に関わりを持ちたい。
- ・本当に感動・感心する発表でした。



図2 普通科全生徒によるポスター発表の様子

普通科2年中間ポスター発表会・卒業生講演会

科学技術振興機構 JST 主催 サイエンスアゴラ2023採択&出場

11月18日(土)に東京で開催されたサイエンスアゴラ2023(JST主催)にて、自然科学部化学分野カードゲーム班が「元素対戦～周期表を駆使して戦え～Elemental Battle」を東京で披露してきました。

4月から日本大学の先生方をアドバイザーとして迎え、月1回のZoom会議を経て実現しました。

ゲームの構成、ルール、絵柄などを班員が協力しながら、イチから作り上げてきました。絵柄も本

校生徒によるデザインで、多くの方から「高校生がつくったの!?商品化して欲しい」と驚きと感心の声をいただきました。

なお、本チームは、12月9日(土)開催の第9回崇城大学ビジネスプランコンテスト/令和5年度熊本県オープンビジネスコンペティションのファイナリストとして(9件/156件)として発表することが決定しています。

これから商品化や学会発表にも積極的に挑戦していく予定です。



図3 化学カードゲームを紹介する自然科学部化学分野のメンバー

SSH校内職員研修 アンケート調査・分析に関するワークショップ



図4 全職員でアンケートの教材検討をする様子

11月のSSH職員研修では、普通科文系の課題研究でニーズが高まってきた「アンケート」に関するワークショップを実施しました。

アンケート調査実施上の注意点や手順について説明を聞いた後、各自で有用なアンケート調査・分析の教材を探し、共有しました。

今後教材として開発予定です。